令和4年度「夏の体験ボランティア」実施結果

令和4年11月21日
山形県青年の家

1. 募集企画数と参加者の有無

企画数 52	参加者有り	34
	参加者無しにより中止	0
	コロナ禍等により中止	18

2. 各地区ごとの企画数と参加者数の一覧(R3年度との比較)

	総企画数		総参加者数													
			小学生		中学生		高校生		学生		その他		担当職員		計	
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3
村山地区	11	7	0	0	63	71	236	32	0	2	3	14	8	16	310	135
最上地区	15	5	0	9	21	9	47	18	0	0	0	2	4	7	72	45
置賜地区	11	7	6	0	22	4	79	79	0	0	16	7	7	8	130	98
庄内地区	15	11	0	0	80	20	137	45	1	1	0	0	14	0	232	66
県全体	52	30	6	9	186	104	499	174	1	3	19	23	33	31	744	344

3. YYボランティアサークル加入別参加者数内訳

(1) YYボランティアサークルに加入していない者

	小学生	中学生	高校生	学生	その他	担当職員	計
村山地区	0	63	236	0	0	3	302
最上地区	0	15	30	0	0	2	47
置賜地区	6	22	79	0	16	7	130
庄内地区	0	71	130	1	0	14	216
県全体	6	171	475	1	16	26	695

(2) YYボランティアサークルに加入している者

	小学生	中学生	高校生	学生	その他	担当職員	計
村山地区	0	0	0	0	3	5	8
最上地区	0	6	17	0	0	2	25
置賜地区	0	0	0	0	0	0	0
庄内地区	0	9	7	0	0	0	16
県全体	0	15	24	0	3	7	49

4. ボランティア企画一覧

企画 no.	市町村	団体・施設名	企画名
1	村山エリア全域	村山教育事務所	MYボラ・スキルアップセミナー
2	山形	なごみの里	デイサービスでのボランティア
3	山形	山形県子ども会育成連合会	山形県子ども会サマーキャンプ(リーダー研修会)
4	天童	津山の自然を守る会	倉津川の清流化に向けた水質調査
5	天童	天童北部地域づくり委員会(市立天童北部公民館)	押切川(または公民館)周辺の清掃及びEM発酵液
6	天童	介護付有料老人ホーム ソーレ天童	車いす清掃
7	天童	天童温泉協同組合・天童温泉商店会・天童温泉観光振興会	天童温泉周辺の清掃活動
8	東根	ひがしねあそびあランド	長期休暇中の「あそびあランド」ボランティア
9	東根	NPO法人クリエイティブひがしね	長期休業中のけやきホールボランティア
10	天童	DMC天童温泉	オーチャードウォーキングin山寺・天童温泉(仮)
11	河北	NPO法人河北子育てアドバイザーセンター ひなのおうち	乳幼児とのふれあい体験
12	新庄	新庄市教育委員会社会教育課	思い出を語る会・R3年度二十歳を祝う会運勢ボランティア
13	新庄	新庄市教育委員会社会教育課	R4年度二十歳を祝う会運営ボランティア
14	新庄	新庄市教育委員会社会教育課	kitokitoMARCHE運営ボランティア
15	新庄	カイセイほっと新庄	バズるデイサービスの夏祭り!
16	新庄	新庄市民プラザ	キッズドリームワークinプラザ
17	新庄	新庄市社会福祉協議会	放課後児童クラブボランティア
18	金山	特別養護老人ホーム「みすぎ荘」	施設外の窓ふき・草むしり、車イス体験
19	舟形	介護老人保健施設 舟形徳洲苑	老健施設でのサマーボランティア
20	真室川	真室川町高校生ボランティアサークル「ホップステップ」	第21回子ども遊び体験天国「えんにち」
21	大蔵	特別養護老人ホーム 翠明荘	車いす及び施設内清掃、入所者との触れ合い
22	鮭川	鮭川村高校生ボランティアサークル「SAKEKKO」	さけがわサマーフェスタ
23	最上	最上町 つくし会	草の根チャリティー街頭募金
24	新庄	プライマルプロジェクト	荻野放課後児童クラブでの折り紙教室
25	新庄	プライマルプロジェクト	日新放課後児童クラブでの折り紙教室
26	新庄	プライマルプロジェクト	新庄放課後児童クラブでの折り紙教室
27	南陽	南陽市社会福祉協議会	心のバリアフリーについて知ろう! 入門編
28	南陽	南陽市社会福祉協議会	小学生交流しよう!
29	南陽	きらきら・EKUBOキッズ	夏の宿泊体験(小学生体験活動のサポート)
30	南陽	赤湯小学校放課後子供教室	赤湯小学校放課後子供教室
31	南陽	沖郷小学校放課後子供教室	沖郷小学校放課後子供教室
32	南陽	宮内小学校放課後子供教室	宮内小学校放課後子供教室
33	長井	長井市中央コミュニティセンター	やんちゃ放課後ひろば【8月夏休み会】～水あそびをしよう!
34	長井	長井福祉会 慈光園	慈光園八幡神社例大祭並びに夏祭りのお手伝い
35	長井	長井市社会福祉協議会	サマーボランティアスクール2022
36	飯豊	NPO法人 ほっと	3世代交流ひろば
37	飯豊	NPO法人 ほっと	ふあみさぼ交流会
38	鶴岡	鶴岡市陽光児童館	夏休み満喫プランのおてつだい
39	鶴岡	山形県金峰少年自然の家	わんぱく自然塾～夏の巻～
40	鶴岡	鶴岡市鶴岡西部児童館	幼児サマー水遊び
41	鶴岡	鶴岡市鶴岡西部児童館	わくわくサマー体験
42	鶴岡	鶴岡市鶴岡西部児童館	ゆめつくり夏まつり
43	鶴岡	鶴岡西部放課後児童クラブひまわり	どっちがびしょ濡れになるか?! Let's! 小学生と水遊び!!
44	鶴岡	鶴岡南部児童館みなつくる	“さんちゃんとけん玉に挑戦!”
45	鶴岡	鶴岡南部児童館みなつくる	化学実験
46	鶴岡	鶴岡南部児童館みなつくる	“お化け屋敷”会場準備
47	鶴岡	鶴岡南部児童館みなつくる	夏のおはなし会
48	鶴岡	鶴岡市立あおば学園	あおばキッズとなかよくなるろう
49	鶴岡	老人ホーム 温寿荘	介護の現場を見てみよう
50	酒田	デイサービスセンター みすみ	デイサービスでのボランティア
51	庄内	しょうない氣龍祭実行委員会	第1回しょうない氣龍祭
52	庄内エリア全域	庄内教育事務所	Yボラサマーチャレンジin庄内

5. ボランティア企画数及び協力団体・施設数

- ・募集企画総数は52件で、令和3年度(30件)を大きく上回った。そのうち、一般団体・施設からの企画数は43件で、令和3年度(22件)を大きく上回り、YYボランティアサークルからの企画数は9件となり、こちらも令和3年度(8件)を上回った。
- ・協力団体・施設数は、総数41で令和3年度(21)と比較すると約2倍に増えた。昨年度と比べ、企画依頼時期に県内で新型コロナウイルス感染症が縮小していたことが増加につながったと考えられる。YYボランティアサークルのなかには、複数の企画をあげている団体もあり、大変ありがたい限りである。
- ・昨年度提供があった団体の他、過去数年分の提供先についても企画の提供を当方から求めた。また、青年の家と関わりのある団体に協力を依頼し、今回新規で企画に参加した団体もあった(天童温泉協同組合・天童温泉商店会・天童温泉観光振興会、DMC 天童温泉)。

6. 体験参加者のいた企画数

- ・全52件中34件で参加者を得た。一方で、当初はボランティアを募集したものの、新型コロナウイルスの影響等で企画自体が中止になったケースが18件あり、そのほとんどで、ボランティアへの参加申込や問い合わせが多く寄せられた。

7. 体験参加者数

- ・体験参加者は744名となり、令和3年度の344名を大幅に上回った。YYボランティアサークル会員でない者が695名(令和3年度274名)と増大したが、YYボランティアサークル会員の参加は49名(令和3年度70名)でわずかに減少した。
- ・昨年度までは、中学1年生を除く2・3年生へのリーフレット配布であったが、今年は高校と同様に中学校でも全学年において1人1枚の配布を行った。その成果か、中学生の体験参加者は186名で、昨年度の104名よりも増加した。

8. 成果と課題

(1)成果

- ・募集定員を超える応募が多くあり、協力していただいた団体・施設からの感想からもボランティアに対する中・高生のニーズは高いと感じられる。また、新型コロナウイルス感染症の影響等で18件の企画が中止となったが、そのほとんどでボランティア参加希望の問い合わせが多くあったことから、次年度は更なるボランティア活動への参加者数の増加が予想される。
- ・学校から配布されるリーフレットは、その学校が存在する地区版のみである。そこで、各地区のリーフレット4地区分をPDF化し、YYボランティアビューローHPからダウンロードできるようにして、情報発信の改善を図った。その成果か、「他地区の学校に進学しているが、自分が住む市町村のボランティア活動へ参加してもよいか」との問い合わせがあったことから、参加者数の増加につながったと考えられる。
- ・高等学校については、県教育委員会の担当から山形県高等学校生徒指導連絡会議の場において本事業の説明と1人1枚リーフレットの配布、ボランティア活動参加への奨励をお願いした。
- ・中学校については、各教育事務所の担当を通して各市町村教育委員会への本事業の説明と1人1枚リーフレットの配布、ボランティア活動参加への奨励をお願いした。

(2)課題

- ・市町村によっては企画数に偏りがあり、生徒の住む場所に左右されず、かつ、参加希望者が溢れることなくボランティア活動を行えるように、企画提供団体の新規開拓や企画

数の増加を図る必要がある。

- ・情報発信について、リーフレット配布と YY ボランティアビューローHP への掲載だけにとどまらず、4 地区分の PDF データを各学校へ送信し、そこから 1 人 1 台タブレット等へ配信してもらうことで、いつでも簡単にボランティア企画を見てもらえるような環境作りが必要である。
- ・昨年度に引き続き、企画を依頼する団体の再点検を行う必要がある。従前の企画依頼団体などには、組織改編などで消滅した部署があったり、近年目覚ましく活動している NPO 法人などが入っていなかったりする場合があった。

9. 参加状況報告書（感想、意見・要望等）より

(1) 本事業及び体験参加者の行動に肯定的なコメント

主な内容：

- ・挨拶もハキハキしていて、好印象の方ばかりでした。水質調査をする津山小の小学生を熱心に手伝ってくれました。来年もぜひご協力いただきたいです。
- ・三年ぶりの開催でしたが生徒たちも一生懸命活動してくれました。子供たちと一緒に作業できた地域住民もいきいきとしていて、非常に有用な交流が図れたと考えております。今後コロナが落ち着いてきたら、より生徒たちに興味をもってもらえるような幅広い活動の機会が設けられればと思います。
- ・今年の河北町どんがまつりは、コロナ感染予防のため縮小ではありますが 3 年ぶりに神事と奴行列のみ実施することとなりました。残念ながらひなのおうち、どんがホール近辺は何もなく祭り体験はできませんでした。しかしどんがホールやひなのおうちに立ち寄り遊んでいく利用者が大勢いましたので子どもたちとたくさん触れ合うことができ、またアーチを作成し飾ってもらい、短時間ながらも充実したボランティア体験だったと思います。
- ・遅刻や欠席もなく身だしなみも整っていてしっかり体験してもらうことができた。参加者は、活動を通じてそれぞれに発見があり、ここでの体験を自分の未来のために活かそうとする姿勢があり感銘を受けた。彼女達にとってここで体験した 2 時間は冒険とチャレンジ、成長の時間であったという事に気が付いた。私たちにとっても貴重な体験だった。
- ・少ないながらも、レスポンスがあり、実施して良かった。
- ・参加した生徒は、数年後の自分をイメージしながらボランティアを実施できているようであった。
- ・多くの生徒の参加があった。参加した生徒はボランティアに対するハードルが下がったようで、「しずく」への参加意向を示してくれた生徒が数人おり、良い機会となった。
- ・予想以上に応募があったうえ、各担当の仕事を楽しみながらしっかりこなしてくれて、大変頼もしく思いました。また自身が小学生のときに同事業に参加し、今度はスタッフとして参加してくれた子もおり、私たちもやりがいを感じる事ができました。
- ・「つくし会」では毎年 24 時間テレビの趣旨に賛同し、草の根チャリティー募金活動を行っております。今回は前日と当日に町内一斉放送で町民の皆様へ周知し、ご協力をお願いいたしました。募金をしてくださった方にミニ貯金箱を差し上げました。ミニ貯金箱の数が限定されていたので、あっという間になくなってしまいました。数がふやせれば良いと思いますが・・・。来年も継続して行っていく予定です。
- ・スタッフと同じように子どもたちに関わっていただき、子どもたちの遊びの内容が充実したものとなった。また、昼食の準備の際、野外で火起こしをし焼きそばを焼いていただいたりと、高校生が大活躍だった。居場所のイベントポスターを制作する際も、高校生が小学生を上手くリードし完成させることができた。

- ・積極的に児童と交流し、サポートしていただいたことで、大変助かった。
- ・各中高生は、大変積極的に仕事を求めながら活動をしていただき、意識の高さに感心した。ボランティアの目的を各自に設定してもらったことで、中高生が意義ある奉仕活動ができたようです。
- ・大変意欲的に参加してもらい助かりました。最終日の清掃活動では、特に助けていただき、すみずみまできれいにしてもらいました。
- ・生徒の皆さんは児童と触れ合い、より良い活動ができたと思います。児童たちも、中高生と触れ合う機会が少ないため、生徒と一緒に遊んだり、学習を見守ってもらったりと楽しく過ごせたと思います。今後も機会があれば、参加していただきたいと思います。
- ・募集の人数に対し、大勢の高校生から応募があり、希望に添えることができずに申し訳なかったです。世代も地域も違う人たち同士の交流の中で、高校生ボランティアさんは積極的に自分たちから話しかけたり手伝ったりしてくれていたことが、年配の先輩たちは喜んでおりました。また、事前にささまきの作り方を学習し参加してくれたボランティアさんに感心しました。数ある中から私達の団体を選んで頂き感謝でいっぱいです。ありがとうございました。
- ・小学4年生～中学3年生までが対象のキャンプで、目をかけなければいけない子が多い中で高校生ボランティアの参加は大変助かりました。また利用させていただきたいです。
- ・どの子も積極的にお手伝いをいただき助かりました。ボランティアをするのが初めての子もいましたが、こちらの指示をしっかりと聞いてくれ、安全に行うことができました。残念ながら天候に恵まれず、5回中2回しか実施できませんでしたが、夏ならではの行事なので来年度も応募させていただきたいです。
- ・今年の夏休みも、ボランティアさんのおかげで本当に助けられました。ボランティアさんたちは、夏休み中の小学1～4年生と本気で水遊びを楽しみ、小学生以上にびしょ濡れになる様子がありました。また、水遊び前に、小学生の前で「ボランティアを希望した理由」や、「将来の夢」を発表してもらう時間を毎回設けていました。小学生は、中高生の発表に興味津々で、自分の数年後の姿を重ねているようにも感じました。普段、関わるのが少ない中高生と一緒に過ごす時間は、小学生にとって刺激があったようです。活動が終わり、ボランティアさんに感想を伺うと、「こんなに濡れると思わなかった」「小学生時代に戻ったようだった」と、楽しかったという感想ばかりでした。ボランティアさんが帰る時、小学生は毎回、離れがたいような姿があり、「また来てね」「またいつか遊ぼうね」と、たった数時間の活動の中でも、中高生と心がつながった様子があり、毎回、心身ともにいい時間となっていました。来年度も継続して参加させていただきたいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。
- ・3人とも担当職員の説明をしっかりと聞き、自分達の役割を的確に捉え、小学生と一緒に楽しみ、場を盛り上げたり、やり方がわからない小学生にはアドバイスしたりしていた。その場にすぐに馴染み、約2時間ではあったが有意義なボランティア活動を体験してくれたと思う。久しぶりの「夏の体験ボランティア」の受け入れだったが、学生達がいろいろな場を体験することで将来を考えるひとつの機会となってもらえればよいと思う。
- ・参加者皆、会場に到着した時は緊張していたが、活動内容の説明をしているうちに緊張感もほぐれ持ち前の明るい表情になってきていた。高校生の2人が中学生に「自分達は年上だけど気兼ねしないで一緒にやろうね」と声をかけている姿が見られ嬉しく感じた。ボランティア活動の取り組み方も大切だがこうした参加者の心持が将来に繋がっていくのだと思う。活動中も積極的に児童の中に入ってアドバイスしたり、ミニ

ゲームでは児童にわかりやすく元気に声を発し盛り上げることができ良かった。

- ・当日の運営ボランティアについては、高校生にお願いし当方の職員と共に活動していただきました。キッチンカーに5名、本部運営に6名、龍担ぎに4名配置し、それぞれの持ち場で積極的に活動していただきました。初開催で、事務局はバタバタしていましたが、高校生は責任を持って一生懸命対応していただきました。大きなトラブルなく無事に終了でき、事務局としては非常に助かりました。翌日のボランティアについても、会場周辺のゴミ拾いを当方の職員と共に担っていただきました。大きなゴミ袋で3袋も集めていただき、大変助かりました。

(2)改善の余地を示すコメント

主な内容：

- ・当初、子ども会のメンバー（小学生や中学生）のサポートをしてもらうボランティアを想定していたが、子ども会からの参加者が少なく、リーダー研修会と一緒に参加してもらうことになった。「ボランティア」を想定して参加したが、中身が「リーダー研修会」となってしまったことにとまどう参加者もいたが、ボランティア活動をするときには、受け身ではなく自分から積極的に行動しなければいけないことが多くあると思うので、この研修会のことを思い出し、リーダーとして活動してもらいたい。
- ・学生は非常に頑張ってくれたと思います。（勿論一部そうでない子もいましたが）100人という到底集まらないだろうという人数でしたが、まさか集まるとは驚きでした。ちょうど夏休み期間に豪雨があり、大江町等では災害ボランティアを募集していましたが、あちらに参加する方がよっぽど有意義で共助の精神を学べるのではと感じました。私たちもただの清掃活動ではなく、より意味のある活動を学生と一緒にできるよう模索していきます。
- ・ボランティア参加の学生ではなく、親が代わりに電話連絡をする方が数人いました。我々の施設では本人がかけなおすよう伝え、再度連絡をいただいています。ボランティア参加理由はそれぞれだと思うのですが、自ら進んで行うボランティアの本質として、せめて本人から連絡をいただきたいと考えています。他の受け入れ施設ではどのような対応をしているか知りたいと考えています。また、全体の募集要項に「本人が連絡する」ようなことをつけたすことは可能でしょうか。難しいようであれば、来年度のあそびあの要項に付け足したいと思います。
- ・今年も担当職員数が少ない中での行事で、ボランティアがいなければどうなっていたか…と思うくらいボランティアには助けてもらった。学童の行事にもボランティア数名に手伝ってもらった。来年度より学童分でも募集をお願いしたいと思っている。行事数、参加者、ボランティア数ともに多い状態で、全ての把握が出来ていない場面もあり来年度への課題としたい。ありがとうございました。
- ・コロナ対策で人数の関係上3人ずつの募集でしたが、たくさんのご応募をいただきありがたかったです。参加していただいた中学生は子ども目線で接していて、子ども達と一緒に楽しんでくれている様子でした。友達同士で参加してくださる方が多かったです。活動中はかたまらずに個々で動いてもらえると尚良かったと思います。
- ・“なつまつり”という企画ということもあってか早い段階で申込み枠がうまりましたが、その後も何人もの中高生からお申込みをいただきましたがお断りせざるを得ず申し訳なかったです。次年度も実施予定ですが、次年度は企画・準備段階から中高生ボランティアの皆さんに加わっていただき、生徒さんの視点でのご意見をいただければと考えております。企画1日、準備2日程度、当日1日の計4日程度を通してのボランティアの募集をお願いしようかと検討しております。当日のボランティアさんは、各コーナーをお任せできるほど、しっかり活動してくださり本当にありがたかったです。

す。また次年度もぜひ願いいしいしたいと思います。

(3)新型コロナウイルス感染症対応に関するコメント

主な内容：

- ・感染者が増加した時期でもあり、室内休憩スペースの提供も難しかったため、活動時間を30分短縮して受け入れさせていただきました。久しぶりにボランティアの受け入れをさせて頂きましたが、予定した人数を大幅に超える希望があり、お断りした方も多くいらっしゃいます。数十件お断りすることとなり、学生の皆さんには申し訳ない気持ちですが、それだけボランティア活動に前向きな学生が多いことに感心しました。今後も活動内容を検討しながら受け入れを続けていきたいと思っています。普段なかなか手が行き届かないところを助けていただき非常に助かりました。ありがとうございました。
- ・6月中旬より①河北町在住の方②谷地高校に通学している方、①②のどちらかに該当する学生のみ参加を可能としました。残念ながら申込者で該当ならない学生が20人ほどおりました。参加された方は将来の目標をしっかりと持っていて積極的にふれあい体験をしていかれました。社会人になってからひなのおうちでの体験が少しでもお役に立てれば幸いです。
- ・コロナ禍で、高校生は外から参加してもらい、利用者様とは窓越しでの対面となりました。直接の交流はできませんでしたが、オンラインで他事業所と繋いだり、質問コーナーを設けてやりとりをしたり、留学生の方に踊りを披露して貰う等の内容を工夫しました。一方的にならないようにした事で、高校生や利用者様にも楽しんで参加して頂けたように思います。
- ・コロナウイルス感染拡大に伴い入所者との触れ合いは行わず、車椅子清掃のみ実施しましたがとても一生懸命していただき大変助かりました。
- ・就労支援施設を訪問し、働いている様子や施設内の工夫等を見せていただく予定だったが、コロナの感染者増加に伴い内容を一部変更しメイン会場と各施設をオンラインで繋ぎ見せていただいた。参加した生徒たちは、「みなさん楽しく生き生きと仕事をされている様子が印象的でした。」「これからの夢を聞かれたときに、一般のところで働きたいと希望を持っていてすごいと思った。」など感想があった。今回の講義やオンラインを通して、受講前と受講後では参加者の気持ちの変化がみられ開催して良かったと思った。
- ・最初は緊張していたようですが、子どもたちとの接し方を探りながらも、笑顔で対応していました。子どもたちも、優しいお姉さんたちとの関わりで笑顔がたくさん見られました。コロナ禍ではありましたが、たくさんのお誘いがあり、それにお応えできなかったことが残念ですが、地域貢献という意味でも活動に申し込みをさせていただきよかったです感じています。ありがとうございました。
- ・新型コロナウイルス第7波が続く中でのボランティア受け入れはとても不安がありましたが、職員・利用者・ボランティアがお互いに、感染予防対策をしっかり行うことで、多くの中学・高校生を受け入れることができ、今はとてもホッとしています。また、コロナ禍でボランティアを受け入れる福祉施設が他に無いからか、酒田市内だけでなく、庄内町や鶴岡市からも申し込みが多くあり、少しでもお役に立てて良かったと思います。「体験ボランティア」ということで、できるだけたくさんの学生に施設を知ってもらい、仕事（職業）を見て（体験して）もらい、福祉や医療等に興味をもってもらいたいという思いで、積極的に受け入れを行いました。参加した学生さん達は「人を笑顔にする仕事がしたい」「看護師になりたい」「理学療法士、管理栄養士になりたい」と、自分の目標や夢をしっかりと持っており、将来に必要なこととしてボラ

ンティア活動に参加し、学ぼうとする姿にとても感動しました。福祉施設でのボランティアは初めてという学生さんがほとんどでしたが、ご利用者とコミュニケーションをとることの難しさや楽しさを経験し、また仕事内容や職員の動きなどを見て知ってもらう良い機会になったと思います。ご利用者も自分たちの孫やひ孫のようなボランティアに目を細め、温かく迎えてくれました。また、ボランティア受け入れに協力したことで職員も良い刺激をもらい学ばせていただきました。そして、どの学生さんも帰るときに「楽しかったです」と言ってくれたことが何よりの収穫だったと思います。

- ・当初はスキルアップ講座を行い、身に付けたスキルを活かして小学生と交流するという計画だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために小学生との交流は中止とした。中高大の27名とサークル担当者7名の参加だったが、参加者の交流、サークル紹介、担当者間の交流などボランティアのつながりを作ることができた。小学生の参加の仕方、スキルアップと交流の時間配分など課題も多く見付き、次年度に活かしていきたい。事務所独自の募集、市町の広報を使っての募集、サークル担当者から会員への直接の募集、そして、「夏の体験ボランティア」での募集と複数の方法で募集をかけることで、多くの中高生、そして保護者から反応があった。次年度も「夏の体験ボランティア」をぜひ活用したい。

(4)新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を中止にした団体からのコメント

主な内容：

- ・今年度は申し込みの受付を開始し、約20名ほどの申込みがありましたが、その後急激なコロナ感染の拡大により、実施を見直しにさせていただきました。
- ・県内及び新庄市内にて新型コロナウイルスの新規感染者が急増したため、ボランティアの実施を中止と判断した。実施中止と判断するまでに4人の参加の希望を受け付けていた。また、YYボランティアサークルの「プライマルプロジェクト」から各学童に対して折り紙教室ボランティアを行ってもらう予定であったが、これも中止となってしまった。
- ・中学生9名の申込みがあったが、コロナ感染拡大防止のため、中止とした。
- ・多くの高校生に申し込みをもらったが、事業が中止となってしまい残念だった。来年度も状況に応じての判断が必要になると思うが、機会があればまた検討したい。
- ・募集の人数に対し、大勢の高校生から応募がありましたが、町内の感染者が日に日に増え残念ながら、受入れをお断りしました。町内で生活する高校生だけでも・・・とも考えたが、全員受け入れるか、全員にお断りするかに決めました。ボランティアさんの分のキットも準備していたので、大雨の影響で遅れてしまいました。後日発送しました。私達の団体を選んで頂き感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

他、多数の団体から「多くの参加申込および参加の希望の問い合わせがありましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため企画を中止いたします」と連絡がありました。